

8款 土木費 2項 道路橋梁費

(単位:千円)

道路橋梁総務費						建設管理課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,612					12,612	
【施策の実施】 道路橋梁総務に関する事業						
【施策額の内訳】						
	(1)街路灯等電気料				6,371	千円
	(2)街路灯修繕				1,298	千円
	(3)道路賠償責任保険				633	千円
	(4)道路台帳整備委託				3,280	千円
	(5)借地料				486	千円
	(6)三国が丘駅連絡橋清掃負担金				162	千円
	(7)消耗品 他				382	千円
【施策の効果】 毎年道路台帳を整備することにより、市道の適正管理を行うことができる。 道路照明を適正に維持管理することにより、交通安全対策及び防犯対策に活用できる。						
道路維持補修事業						建設管理課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
114,176		5,746			108,430	
【施策の実施】 道路の通行と安全性を確保するため、道路不良施設の改修・排水不良個所の改善及び道路の拡幅を行う。						
【施策額の内訳】						
	(1)修繕・消耗品 他				28,389	千円
	(2)分筆委託				2,933	千円
	(3)道路補修委託(シルバー人材センター含む)・道路清掃委託				3,840	千円
	(4)工事費(12箇所)				29,098	千円
	(5)原材料費(側溝蓋、碎石、レミファルト、杭木)				3,148	千円
	(6)用地買収				49	千円
	(7)物件補償 セットバック				4,973	千円
	(8)西鉄小郡駅前モニュメント点検委託				691	千円
	(9)街路樹管理委託・立木等伐採委託				37,824	千円
	(10)道路調査業務委託(ふれあい橋信号)				3,231	千円
【施策の効果】 市道(道路側溝、街路樹等)を適正に維持管理することにより、市民の安全性・利便性が向上する。 また、市民(区)の要望に対しても適正に対処できる。						
今限103号道路整備事業【社会資本整備総合交付金(狭あい道路整備)】						道路建設課
総 額	財 源 内 訳					
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
37,656	13,263		19,500		4,893	
今限103号道路整備事業(社会資本整備総合交付金【狭あい道路整備】) L=420m W=6.0m H23~H26年度						
【施策額の内訳及び実施】						
	・ 事務費	12	千円			
	・ 本工事費	37,644	千円			道路改良工事1件 L=75m、交通安全施設工事1件
	合計	37,656	千円			
【施策の効果】 本路線は、道路幅員が狭あい(4m未満)である為、車の離合等も難しいなど非常に危険な状態であった。 道路改良を行うことにより、スムーズな離合や通学などの安全性の向上を図ることができた。						

今限103号道路整備事業【社会資本整備総合交付金(狭あい道路整備)】(繰越分)					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,505	5,756		2,400		349
今限103号道路整備事業(社会資本整備総合交付金【狭あい道路整備】)					
【施策額の内訳及び実施】					
・ 工事費 8,505 千円 道路改良工事1件 L=126.3m					
西福童・二森32号線(端間自歩道橋)整備事業【社会資本整備総合交付金】					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,978	6,567		4,800		4,611
西福童・二森32号線(社会資本整備総合交付金) L=120m W=4m H15～					
【施策額の内訳】					
・ 本工事費 13,378 千円 取付道路工2件、交安施設工1件					
・ 事務費 20 千円					
・ 委託料 2,580 千円 満天橋通行補助業務					
【施策の効果】					
現端間橋が約200m下流側へ架け替わったため、自歩道橋を設置することにより歩行者、自転車の安全確保及び移動距離の短縮を図るため、事業実施中である。					
西福童・二森32号線(端間自歩道橋)整備事業【社会資本整備総合交付金】(繰越分)					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,200	8,360		6,100		740
西福童・二森32号線(社会資本整備総合交付金) L=120m W=4m H15～					
【施策の効果】					
・ 本工事費 15,200 千円 取付道路工3件					
【施策の効果】					
現端間橋が約200m下流側へ架け替わったため、自歩道橋を設置することにより歩行者、自転車の安全確保及び移動距離の短縮を図るため、事業実施中である。					
下町・西福童16号線整備事業【社会資本整備総合交付金】					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
231,079	103,395		76,100		51,584
下町・西福童16号線(社会資本整備総合交付金) L=927m W=19m H19～					
【施策額の内訳及び実施】					
・ 用地買収費 40,809 千円 11 件 (A≒1,754㎡)					
・ 移転補償等 189,920 千円 21 件 (建物・工作物・残地・借家人)					
・ 事務費 350 千円					
合計 231,079 千円					
【施策の効果】					
現在の本路線は児童生徒等の通学路に指定されているが、道路幅員も狭いうえ(4～5m)歩道もなく、車の離合もしにくい非常に危険な状態である。これらの解消とともに国道500号線から県道鳥栖朝倉線を結び、本市西部地区の交通渋滞の解消を図る。					

下町・西福童16号線整備事業【社会資本整備総合交付金】(繰越分)					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
67,920	37,356		27,500		3,064
下町・西福童16号線(社会資本整備総合交付金)					
【施策額の内訳及び実施】					
L=927m W=19m H19～					
・ 用地買収費 13,360 千円 3 件 (A=419㎡)					
・ 移転補償費 54,560 千円 6 件 (建物・工作物・残地・借家人)					
合計 67,920 千円					
三国が丘駅エレベーター設置事業【社会資本整備総合交付金】					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
33,997	18,678		13,700		1,619
三国・三沢5694号線(社会資本整備総合交付金)					
エレベーター設置 2基 H25～H27					
【施策額の内訳】					
・ 手数料 25 千円 東口エレベーター設置工事に伴う建築物確認申請手数料					
・ 委託料 4,593 千円 東口設計監理業務、西口実施設計業務 西口連絡橋階段詳細設計業務					
・ 用地費 88 千円 東口エレベーター用地費					
・ 工事費 29,291 千円 東口エレベーター工事費					
【施策の効果】					
三国が丘駅を横断する高架橋(市道)にエレベーターやそれに類するものがない状況で、足の不自由な方や高齢者また車いすの方にとって利用しづらい状況である。これらを解消する為にエレベーターの設置を行い、安全に快適に道路横断や駅舎の利用が可能となる。					
西鉄三国が丘駅前県道久留米小郡線交差点改良事業【社会資本整備総合交付金】					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
31,434	16,676		12,200		2,558
【施策の目的】					
西鉄三国が丘駅西側の旧簡易保険レクリエーションセンター跡地を西日本鉄道(株)が取得し、大型宅地開発が計画されている。この宅地造成が完了し、分譲が始まると周辺道路の交通渋滞が予想されるので、進入部分の市道5449号線と一般県道久留米小郡線との交差点を改良し、右折車線設置による円滑な通行を確保する。					
【施策の内容】					
県道久留米小郡線交差点改築工事(社会資本整備総合交付金)					
L=143m W=16m～20.8m H26施工					
[主な工事内容]					
・アスファルト舗装 A=1,456㎡ インターロッキング舗装 A=370㎡					
・道路照明灯 N=3基 信号機 N=1式 横断防止柵 L=121m					
・本工事費 31,434千円					
【施策の効果】					
県道久留米小郡線に右折車線を新設したことによりスムーズな交通ができるようになった。また、交差点に道路照明灯を新設し、信号機の移設を行うことで、歩行者の安全を確保することができた。					
鳥栖朝倉線【県事業・県補助】					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
205		33			172
県道鳥栖朝倉線					
L=1,650m W=15m H15～					
【施策額の内訳】					
・ 事務費 205 千円 (うち鳥栖朝倉線用地事務受託費 33千円)					
・ 用地買収 1 件 (A=81.42㎡)					

【施策の効果】

主要地方道久留米小郡線と交差する端間橋及び西鉄端間駅周辺の交通渋滞を解消し、交通安全と利便性を確保するため、現在事業実施中である。

味坂113・1072号道路整備事業

道路建設課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,908			2,600		308

上西鯨坂113号線 L=130m W=6.5m
 味坂・上西鯨坂1072・1074号線 L=170m W=5.0m
 H23～H26年度

【施策額の内訳及び実施】

・ 用地買収費	736 千円	1 件 (A=42.37㎡)
・ 工事費	2,124 千円	113号線道路改良工事2件 L=37.0m
・ 事務費	48 千円	
合計	2,908 千円	

【施策の効果】

県道鳥栖朝倉線の改良事業に伴い、上西区からの接道として重要な道路であるが、道路幅員が狭いため、車の離合が困難な状況であり、円滑かつ安全な交通が阻害される状況であった。本路線の整備を行ったことで、スムーズな離合や通学などの安全性の向上を図ることができた。

味坂113・1072号道路整備事業(線越分)

道路建設課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,078					3,078

上西鯨坂113号線 L=130m W=6.5m
 味坂・上西鯨坂1072・1074号線 L=170m W=5.0m

【施策額の内訳及び実施】

・ 工事費	3,078 千円	113号線道路改良1件 L=70.0m
-------	----------	---------------------

端間駅周辺地区 地区(西部)計画整備事業

まちづくり推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,387	3,693		3,300		394

【施策の目的】

西鉄端間駅周辺の活性化及び良好な居住環境の形成強化を行い、合理的な土地の利用増進を図るため、地区計画を策定し、駅前広場や道路等の地区施設の整備を行う。

【施策の実施】

・ 端間駅周辺地区 地区(西部)計画	約3.6ha
・ 平成21年度から地区内の地権者、関係者による地区計画策定委員会開催 (現在までに19回開催)	
・ 平成23年度 基本設計	6,804千円
・ 平成24年度 実施設計等、墓地管理者等調査	7,587千円
・ 平成26年度 実施設計(変更)等、物件補償調査	7,387千円

【施策の内訳】

実施設計等業務委託料	
・ 測量、土質調査、設計	6,588千円
物件補償調査業務委託料	
・ 墳墓3画地(管理者3名)	799千円

【施策の効果】

各種調査、設計を実施したことにより、次年度以降の事業実施に向けた準備が出来た。事業が完了すれば、端間駅以西の駅利用者の利便性や周辺の安全性が向上し、地区内の土地利用も可能になる。

東野校区道路整備事業【社会資本整備総合交付金】					道路建設課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,328	6,424		4,700		2,204
三国・大保原5079号線(社会資本整備総合交付金) L=580m W=7.5m H23～					
【施策額の内訳】					
・ 委託料	1,667 千円		測量業務委託1件、物件調査等委託3件		
・ 事務費	972 千円				
・ 用地費	8,750 千円		A=1,693.87㎡		
・ 補償費	1,939 千円		建物N=1件		
【施策の効果】					
東野小学校から大保地区を経て西島区までの道路について、現況幅員が2～3m程度と狭隘で、見通しの悪い箇所も多い危険な道路である。東野地区と東野校区公民館を結ぶこの道路を拡幅整備し、住民の利便性と安全性を確保する。					
市道舗装事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
73,022				8,503	64,519
【施策の実施】					
生活環境の整備や通行の安全を図るために、未舗装道路の舗装及び舗装の改修を行う。					
【施策額の内訳】					
(1)簡易舗装工事(21箇所)					73,022 千円
【施策の効果】					
舗装を適正に維持管理することにより、利用者の安全性・利便性が向上する。					
交通安全施設等整備事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,516	10,736			394	2,386
【施策の実施】					
交通災害から市民を守るために、効率的で効果的な交通安全施設を整備する。					
【施策額の内訳】					
交通安全施設等					
(1)設置工事	外側線、カーブミラー、ガードレール等				10,179 千円
(2)修繕工事	カーブミラー、路面表示板、デリネーター、ガードレール等				3,337 千円
【施策の効果】					
交通安全施設(道路反射鏡、区画線、防護柵)を整備、維持管理することにより、交通事故対策や転落防止施設として活用できる。					
大板井5064号道路整備事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,613	5,258		3,800		1,555
【施策の実施】					
大原小学校前道路(市道三国・大保原5064号線)の歩道整備を行う。 全体延長L=280m 歩道W=2.5m(両側、一部片側)					
【施策額の内訳】					
(1)5064号線歩道設置工事 L=41.4mm					9,563 千円
(2)水道管移設補償費					1,050 千円
【施策の効果】					
歩道を整備することにより、通学児童の安全性が向上する。					

大板井5064号道路整備事業(繰越)					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,143	15,479		11,400		1,264
【施策の実施】 大原小学校前道路(市道三国・大保原5064号線)の歩道整備を行う。 全体延長L=280m 歩道W=2.5m(両側、一部片側)					
【施策額の内訳】 (1)5064号線歩道設置工事 L=120.0mm 28,143 千円					
【施策の効果】 歩道を整備することにより、通学児童の安全性が向上する。					
大崎・下岩田14号道路整備事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,478	3,281		2,400		797
【施策の実施】 市道大崎・下岩田14号線(柳内橋)架替 橋梁 L=15.2m 道路整備(バイパス含) L=250m 石原川未整備区間の整備 L=100m					
【施策額の内訳】 (1)用地測量・河川設計業務委託料 5,992 千円 (2)不動産鑑定手数料 486 千円					
【施策の効果】 橋梁・バイパス道路を整備することにより下岩田変則五差路の解消することができる。また、石原川未整備区間を整備することにより、治水能力の向上が図られる。					
吹上区道路整備事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,944			1,700		244
【施策の実施】 吹上区内道路(立石・吹上4126号線)の延伸 L=86m W=6.0m					
【施策額の内訳】 (1)物件調査委託料 1,620 千円 (2)不動産鑑定手数料 324 千円					
【施策の効果】 吹上区内から県道吹上北野線へのアクセスが改善され、安全性・利便性が向上する。					
下町道路整備事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,996					19,996
【施策の実施】 下水道マンホール上を大型車が走行することにより、騒音・振動が発生している。 その解消のため、舗装更新及び車線の位置変更を行う。					
【施策額の内訳】 (1)道路整備工事 L=454.7m 19,996 千円					
【施策の効果】 下町・西福童16号線(国道500号線～大分自動車道北側)の騒音・振動を解消することができた。					

宝珠川左岸堤防道路整備事業【地活債・単独】					まちづくり推進課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,446			2,600		846
【施策の目的】 津古地区内の道路であり、道路利用者の利便性の向上を図るとともに、地域住民の安全性を確保するために道路の拡幅整備を行う。 (2期事業) 整備延長L=213m 幅員W=5~7m					
【施策の実施】 用地買収費 1,145千円 (2件 A=35.25㎡) 補償費 2,301千円 (2件 工作物・立木等)					
【施策の効果】 用地買収を実施したことにより、今後の工事の進捗につながる。					
小郡・西福童3081・3086号線整備事業【地活債・単独】					まちづくり推進課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,591			3,400		1,191
【施策の目的】 福童地区内の道路であり、道路利用者の利便性及び安全性の向上を図るために、道路の拡幅整備を行う。 (2期事業) 整備延長L=180m 幅員W=14m					
【施策の実施】 用地買収費 2,650千円 (1件 A=255.04㎡) 補償費 1,941千円 (1件 工作物・立木等)					
【施策の効果】 用地買収を実施したことにより、今後の工事の進捗につながる。					
小郡・西福童3082-B号線道路整備事業					まちづくり推進課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,991					5,991
【施策の目的】 福童地区内の道路であり、道路利用者の利便性の向上を図るとともに、緊急車両等の乗り入れを可能にするために、道路の拡幅整備を行う。 整備延長L=175m 幅員W=4m					
【施策の実施】 委託料 5,991千円 (測量・設計業務)					
【施策の効果】 測量・設計委託を実施したことにより、道路拡幅の設計図書が完成した。これにより、今後用地買収及び拡幅工事に取り組むことができる。					
西鉄三国が丘駅前広場整備事業					まちづくり推進課
総額	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
270					270
【施策の目的】 西鉄三国が丘駅西側の簡保レクセンター跡地を西日本鉄道株式会社が取得し、宅地等開発を行っているところであり、それにあわせて、駅前広場を整備する。					
【施策の実施】 <ul style="list-style-type: none"> ・三国が丘駅西口駅前広場整備 約2,500㎡ ・平成23年度から西鉄と協議、事業分担について整理。 ・平成25年度協議において、実施設計の費用の55%を西鉄が負担する旨の協定書締結。 ・平成25年度 実施設計等業務委託 (駅前広場、県道交差点) 9,975千円 ・平成26年度 CBR試験業務委託 270千円 					
【施策の効果】 CBR試験業務により、舗装構成が確定した。26年度工事については繰越を行い、27年度から駅前広場整備工事に着手する。西鉄の開発に伴う交通量増大に対応し、利用者の安全性・利便性が向上する。					

道路ストック総点検事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,700	3,685				3,015
【施策の実施】 老朽化が進む道路ストックを総点検し、予防保全的な修繕・補修を行うことにより道路ストックの長寿命化を図る。					
【施策額の内訳】 委託料(道路ストック総点検業務委託) 6,700 千円					
【施策の効果】 道路ストックの長寿命化により、老朽化対策やコスト縮減が図られる。					
橋梁維持補修事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,143	3,135				4,008
【施策の実施】 老朽化する道路橋について、長寿命化修繕計画を策定することで予防的な修繕、計画的な架替を行い、橋梁の長寿命化に伴う維持修繕費用の縮減を図る。					
【施策額の内訳】 委託料(橋梁長寿命化修繕計画に基づく調査・設計) 稻吉橋・長浦橋・南内畑橋 6,903 千円 使用料(福岡県建設技術センターシステム使用料) 240 千円					
【施策の効果】 橋梁の長寿命化により、修繕・架替に係る費用の縮減が図られる。					
排水路整備事業					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,502			7,200		4,302
【施策の実施】 環境整備事業の一環として、下水排水路(素掘り水路)を三面コンクリート化に整備する。					
【施策額の内訳】 (1)清掃委託料 他 377 千円 (2)環境衛生下水排水路工事 9,658 千円 (3)修繕(浚渫、底張、三面張水路等) 1,465 千円 (4)若山堤整備基金積立金 2 千円					
【施策の効果】 素掘り水路のコンクリート化や維持管理により、清潔で安全な住環境を保つことができる。					

8款 土木費 3項 河川費

(単位:千円)

河川総務費					建設管理課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,125	902				1,223
【施策の実施】 河川総務に関する事業					
【施策額の内訳】 (1)水門等操作委託(上西、今朝丸、赤川) 889 千円 (2)石原川雑草等除去作業委託 137 千円 (3)水門等操作人及び雑草除去作業人傷害保険 15 千円 (4)県河川協会負担金等 914 千円 (5)期成会補助金 170 千円					

【施策の効果】

増水時に水門等の操作をすることにより、河川からの逆流を防ぎ水害を防止する効果がある。
河川敷に繁茂する雑草等を除去することにより、河川の異常の早期発見や不法投棄予防等の効果がある。

河川維持補修費

建設管理課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
319					319

【施策の実施】

市営河川の維持及び補修事業

【施策額の内訳】

(1)河川修繕(修繕、土砂撤去等) 319 千円

【施策の効果】

市管理河川の護岸修繕や浚渫を行うことにより、河川災害の防止を図る。

8款 土木費 4項 都市計画費

(単位:千円)

小都市景観計画策定業務委託(都市計画総務費)

都市計画課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,516		838			1,678

【施策の目的】

平成26年4月1日に景観行政団体に移行したことを契機に、本市独自の良好な景観の保全・形成及び豊かな住環境の創出に向けた景観施策を展開することが求められている。景観計画を策定することにより、小都市らしい良好な景観形成を推進することを目的としている。

【施策の実施】

- 1.景観概要の整理 ①景観に関する詳細調査②法的整理③ワークショップの運営支援④景観形成に関する課題の整理
- 2.小都市景観計画に定める内容の検討 ①景観計画区域の検討②景観形成の方針検討③行為の規制検討
- 3.小都市景観審議会の運営支援

【施策額の内訳】

小都市景観計画策定業務委託料 2,516千円

【施策の効果】

景観計画の策定を行うことにより、松崎地区、花立山地区などの良好な景観の保全・維持を図ることで、歴史・観光・産業的な利用価値が高まり、特に景観の優れた地域を重点地域として指定することにより、地域住民、行政及び事業者と協働の景観まちづくりを展開し観光、産業の振興に繋げる効果がある。

都市計画基本図修正業務委託(都市計画総務費)

都市計画課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,043					7,043

【施策の目的】

最新の税務課で撮影した航空写真を基に、都市計画図の経年変化の修正を行うとともに最新の情報を反映した図面を作成する。都市計画総括図については、都市計画変更による修正を行い、図面に反映し、必要な修正を行い地図を更新、印刷する。

【施策の実施】

1. 都市計画基本図の修正・印刷(1/2,500:27面・各200枚、1/10,000:2面・400枚、500枚、1/15,000:1面、200枚、1/25,000:1面、400枚)
2. 都市計画総括図用のデータ修正(都市施設、都市計画道路、都市公園、用途地域、地区計画等の範囲を明記)

【施策額の内訳】

都市計画基本図修正業務委託料 7,043千円

【施策の効果】

都市計画図、都市計画総括図等は、平成29年度の小郡市都市計画基礎調査の資料となるとともに、市民への情報提供、県等の関係機関への報告・協議、都市計画変更図書への添付など、都市計画業務で頻繁に使用するものであり、経年変化修正を行うとともに最新の情報を提供する効果がある。

公園管理費

まちづくり推進課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
52,696					52,696

【施策の目的】

公園の安全性、快適性を確保し、市民の憩いの場とするため。

【施策の実施】

市内公園・緑地122箇所の維持管理

① 光熱水費	3,818 千円
② 修繕料(遊具、フェンス、照明、トイレ等)	6,560 千円
③ 管理委託料(除草、清掃、樹木剪定、消毒等)	34,622 千円
④ 借地料(城山公園内山林、且田ヶ浦堤等)	3,571 千円
⑤ 工事費(二森親水公園遊歩道改修工事 L=307.6m)	3,534 千円
⑥ その他	591 千円

【施策の効果】

公園管理費は市内公園・緑地の日常の維持管理が主な目的である。樹木剪定、雑草処理、遊具の修繕などを行うことにより、快適な憩いの場として市民が利用している。

本郷・基山線(西鉄高架事業)【県事業・県補助】

道路建設課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,000			13,500		1,500

※県道(都市計画道路)の道路整備事業に伴う地元負担金

県道本郷・基山線(西鉄高架事業)

施策総額 15,000千円

L=777m W=18~31.8m H15~28年度(事業終了による損失補償で延長)

- ・ 県単 60,000千円×1/4=15,000千円
- ・ 力武交差点舗装工事、取付道路築造工事
- ・ 案内板設置工事、道路付属物設置工事
- ・ 高架下道路用地買収

【施策の効果】

本郷基山線の大牟田線を挟む区間は、平成26年3月に供用開始し、踏切遮断による慢性的な交通混雑が解消し、小郡市北部の東西方向へのアクセスが強化された。

また、歩道を車道と分離することで安全な歩行空間の確保など、生活環境の改善もできた。

○ 総事業費	3,352,658千円	小郡市負担金	614,833千円
○ 事業延長	L=777m		
○ 事業開始	平成15年度		

小郡市都市計画道路整備プログラム第二次策定業務【街路交通調査費補助】

道路建設課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,001	1,000				2,001

都市計画道路整備プログラムの更新

幹線街路 24路線(約49km) H25~H26

【施策額の内訳】

- ・ 委託料 3,001 千円 小郡市都市計画道路見直し業務

【施策の効果】

昨年度行った都市計画道路整備プログラム策定業務により、整備の優先順位を短期、中期、長期とグループ分けした結果を受け、長期整備都市計画道路に位置づけられ、見直しの方向性として変更、廃止への検討が必要である路線を対象に、路線概要の整理と、将来交通量推計の実施による見直し後の交通量の確認を行いつつ、今後の都市計画決定の手続きを行うために必要な法定図書及び参考図書を作成した。

下水道事業特別会計繰出金					下水道課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
626,000					626,000
【施策の目的】 下水道事業の整備促進を図ることを目的とする。					
【施策の目的】 下水道事業特別会計への繰出金					
【施策額の内訳】					
	事務費繰出金	21,163千円			
	公債費財源繰出金	570,010千円			
	その他繰出金	34,827千円			
	合 計	626,000千円			
【施策の効果】 下水道事業の整備促進に役立った。					

8款 土木費 5項 住宅費

(単位:千円)

市営住宅維持補修費					都市計画課
総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,917					8,917
【施策の目的】 住宅の定期修繕及び管理委託を行うことにより機能の維持を行う。					
【施策の実施／施策額の内訳】					
	(1)修 繕 料	5,376千円			
	(2)委 託 料	2,318千円			
	(3)そ の 他	1,223千円			
市営住宅団地名及び管理戸数					
	(1)駅前住宅	20戸	(5)下岩田住宅	16戸	
	(2)若山住宅	20戸	(6)小板井住宅	17戸	
	(3)井上第1住宅	56戸	(7)若山南住宅	5戸	
	(4)井上第2住宅	36戸	(8)長松住宅	56戸	
				合計	226戸
【施策の効果】 住宅の定期修繕及び管理委託を行うことにより、入居者が安心して生活できる。					